

令和3年7月30日

実務補習所教材（テキスト及びeラーニング）の公開について

後進育成担当
常務理事 後藤 紳太郎

修了考査は、公認会計士試験合格以来、実務補習所、業務補助、自己学習などで身に付けてきた知識が公認会計士にふさわしいレベルに達していることを確認する試験です。ほかの受験者より多くの点数を取ることが合格に結びつくのではなく、漏れのないしっかりとした知識とそれを実務的に応用する能力が試されます。

皆さんの学習の一助となるように、最新の実務補習所テキスト及びeラーニングの動画を公開するウェブサイトを開設いたしました。

修了考査受験に向けて手元にある古い実務補習所テキストではなく最新のテキストに目を通して、自分の知識に欠けているところがないか確認をしてみてください。自分の知識に不安な領域を識別したときには、実務補習所テキストや参照資料を確認する、改めてeラーニングを視聴するなど基本に立ち返った学習が有効だと考えます。

本サイトの利用は無料です。テキストを確認したり、不得意な分野のeラーニングを視聴したりするなど、有効活用されて、皆さんの勉強の参考とされることを期待しています。

なお、令和2年度において実務補習所のシラバスは、会計大学院協会の先生方の協力も得て記載内容の拡大、充実を図っています。この新しいシラバスでは、講義内容だけではなく、当該科目を学習することで身に付けるべき達成目標を明示していただいています。この達成目標は、学習の道標となるものであり、達成できているかどうかご自身で確認をしてください。もし不安なところがあれば、テキストや参考資料を確認してください。必要と思ったらeラーニングの視聴もしてください。最新のシラバスは、会計研修機構の実務補習のウェブサイト(<http://www.jfael.or.jp/ja/>)から確認できますので、是非目を通していただくようお願いします。

修了考査で問われるのは、表面的な知識ではなく、実務で使える身に着いた知識です。実務補習所テキストやシラバスの確認、eラーニングの受講など少し回り道と感ずるかもしれませんが、ひとつひとつの積み上げが修了考査合格へと導いてくれると考えます。

新型コロナウイルス感染症の収束はまだ見えておりませんが、健康には十分に注意をして、これまでの学習成果が遺憾なく発揮できるよう修了考査に向けてしっかりと準備をしてください。全員合格となることを祈念しています。